パートナー
静岡市清水市民活動センター情報誌　2023年 2月1日　Vol.119
市民活動はまちの未来を創造する

発行：静岡市清水市民活動センター
指定管理者：NPO法人NPOサポート・しみず
〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1
TEL：054-340-1010
fax：054-351-5530
mail：mail@shimizu-s-center.org
HP：http://shimizu-s-center.org

地域で活動する魅力って何だ？

社会の課題解決に取り組む若者たちに聞く

活動発表団体

静岡県立大学	環境サークル CO-CO
静岡県立大学	静岡学生NGO あおい
常葉大学	防犯サークル JUSTICE
ＮＰＯ法人	New Universal Act
一般社団法人	静岡学習支援ネットワーク

１月21日、清水市民活動センターでは市内を主な拠点に活躍している大学生、高校生の団体を招き、活動への思いやその原動力について語っていただきました。

彼らは在学中という限られた期間に活動しながら、その思いを後輩たちにつないでいっています。その秘訣は、「何を目指して活動していくのか」というミッションを常に共有していること、地域の人々とつながることでの楽しさや喜びを仲間と分かち合えるところにあるようです。

分野の異なる５団体が参加してくれましたが、「地域」というフィールドだからこその人と人との密な関わり、活動によって得られる達成感が力となっていることは共通していました。

今、多くのＮＰＯが事業の承継に頭を悩ませています。長年活動を続けてきたという参加者からも、毎年新しいメンバーに代わりながらその姿勢を変えることなくつないでいる若者たちの様子に励まされたという感想が聞かれました。

リレートーク　港の風 64

NPO法人
WAC清水さわやかサービス
居宅支援法人統括責任者
鈴木久義さん

ＮＰＯ法人ＷＡＣ清水さわやかサービスは、「困った時は、お互い様」というスローガンを掲げ、20年以上にわたり、デイサービスや訪問介護等の高齢者福祉に取り組んできました。

現在、自立支援型デイサービス『さわやか清水』、はたらくデイサービス『ＷＯＲＫＷＡＣ』、地域交流の場『わくわく亭』の運営などを行っています。

さらに、2018年の住宅セーフティーネット法改正により、居住支援活動を行うＮＰＯ法人等を賃貸住宅への入居に係る情報提供・相談、見守りなどの生活支援を行う居住支援法人として指定することが可能となり、ＷＡＣ清水さわやかサービスは、県内２例目の居住支援法人の指定を受けました。

住む家が見つからず困っているという方のために、統括責任者として精力的に取り組みを続けている鈴木久義さんにお話をうかがいました。

居住支援法人の仕事

居住支援法人の主な仕事は、住まいを提供する不動産会社と入居したい相談者のマッチングです。マッチングとひとことで言っても、入居に至るまでにはケースごとにさまざまな支援が必要です。

支援の対象となるのは、主に高齢者、障がい者、外国人、ひとり親家庭世帯等です。彼等は不動産会社や大家さんから精神障害があるというだけで断られたり、高齢者は近くに身寄りがいないといった理由で、入居を断られることが多く、生活の基盤となる「住まい」の確保が困難な状況にあります。

ネットワークを活用して住まい探し

相談を受けると、まずはその方のお宅に訪問し、現在の状況を確認します。相談者の状況はさまざまで、ゴミ屋敷になっているケースもあります。そういった場合は、行政や他の支援団体と連携しながら、今後の対応を決めていきます。課題を解決するためには多方面との連携が欠かせません。

その上で、本人の希望や状況に適した物件や不動産会社を探し、提示します。物件が決まったら、契約書類の確認や入居の立会い、引っ越し業者の手配、住所の変更届けの手続きの手伝い等、「住まい」に関する全てのことを支援していきます。

相談から入居まで10日前後の時間がかかっています。迅速に対応したいと思っているのですが、限られた予算と人数で動いているので難しいです。

▲引っ越し前に一緒に片づけることも

▲チラシは困っている人に支援を知ってもらう有効なツール

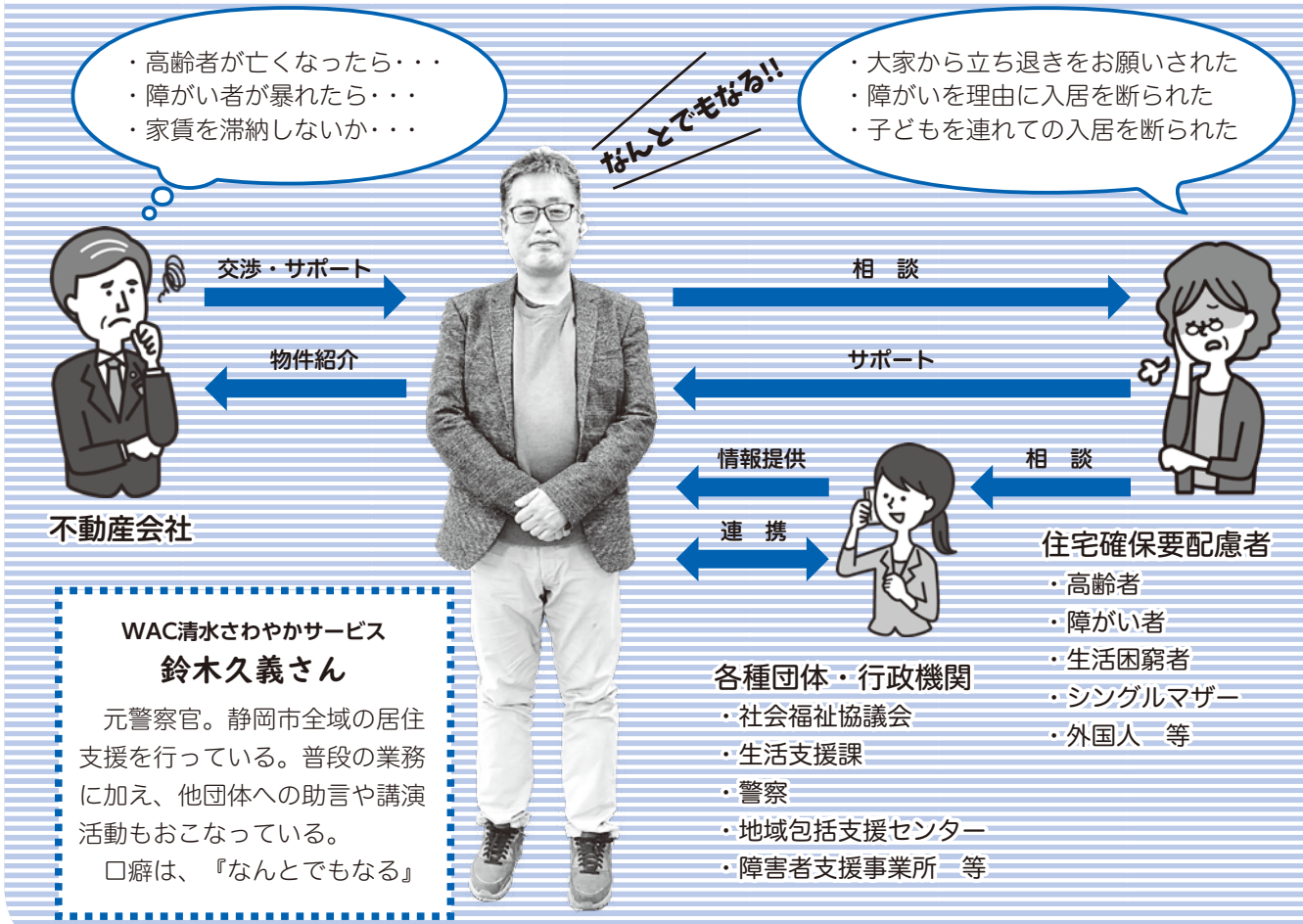
事業開始から現在まで

2018年に居住支援をはじめた際に、住宅支援事業について知らせるチラシを清水区全戸(20万部)に配布しました。それと同時に、静岡市内の不動産会社を100社以上回り、協力をお願いしました。断られることもありましたが、20社以上の会社から協力の申し出を受けることができました。

また、家を探している方に不動産会社や大家さんに入居を断られた理由を聞くと、それぞれが抱えている問題に対する偏見があり入居について不安を感じていることがわかりました。その解消のために、ヘルパーさんに週１度掃除に入ってもらったり、家賃を滞納することがないように指導する等、入居後のサポートもおこなってきました。個人的に心配だと感じる方は、近くを通りかかった際に様子を見に行くこともあります。

相談件数は開所当初から数えると500件を超えました。そして、実際に入居までに至った件数は200件にのぼります。おそらく、全国でも一番多いでしょう。

居住支援法人の仕事（マッチング）



台風15号と居住支援法人

直後は、被災者支援のためアパートの空き部屋のシャワーを使えるようにしたり、ボランティアで静岡市に来てくれた方たちの滞在拠点の確保等の支援をおこなったりと、対応に追われました。

それから５か月が経過しましたが、家を探す相談の件数も増え、2021年の同時期と比べると2倍近い数になっています。

今まで住んでいたアパートから立ち退きを求められた生活困窮者、高齢者や障がい者からの相談が大半で、現在も住まいが見つからない人がいます。

被災から時間が経つほど精神的な負担も大きくなるので少しでも早く見つけたいところですが、前述の通りある程度の時間が必要です。

より迅速に対応するためには、人も財政的な裏付けも足りないというのが現実です。それでも、これまでに築いてきたつながりを大切にしながら目の前の困っている人たちに住まいを提供できるよう、根気よく活動を続けていきたいと思います。

増加した相談件数

	2021年	2022年
９月	13件	21件 ↗
10月	12件	24件 ↗
11月	８件	20件 ↗

NPO法人
WAC清水さわやかサービス
「困った時はお互いさま」
居住支援専用ダイヤル
054-340-3456　平日9:00～16:00

NPOワンポイント　内閣府NPOポータルサイトで自団体の情報を確認してみましょう

このコーナーで繰り返しお伝えしているとおり、ＮＰＯ法人の事業報告書等は所轄庁に提出したのち、内閣府のポータルサイトで公開されます。法人名で検索すれば団体の事業や財政について誰もが閲覧できます。

情報が公開されることでＮＰＯの信頼は担保されるわけですが、実際に団体の情報を見てみると少々気になることがあります。

年度末を控えていますので、今回は決算書類について取り上げてみます。

事例その１　項目は「活動計算書」となっていますが、実際には「収支計算書」または一部が「収支計算書」
事例その２　注記に記載されている会計基準が改正後の年月日になっていない
事例その３　「収益」の中に前年度繰越金や借入金が入っている
事例その４　活動計算書・貸借対照表・財産目録の整合性がとれていない（金額が合わない）

きちんと会計処理をしているのに、書類を見ると「？」となってしまうのはとても残念です。
今年度の決算報告は「？」をなくしてスッキリ作成しましょう。
清水市民活動センターもそのお手伝いをしますので、お気軽にご相談ください。

令和５年度事務ブース入居団体募集

清水市民活動センターでは、市民活動団体が事務所として利用できる事務ブースの入居団体を募集します。

■利用料：5,230円／１カ月
■備　品：・事務用デスク、椅子・大型ロッカー

（横90×縦210×奥行42㎝）

■申請期限：2月28日㈫
必要書類を添えてお申し込みください。
※入居にあたっては審査があります。
詳細は清水市民活動センターにお問い合わせください。

センター主催講座のお知らせ

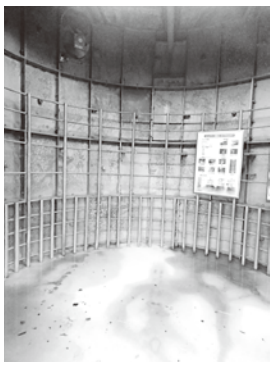
静岡市出前講座　地域防災について考える2

2022年９月に発生した台風15号は、甚大な被害をもたらし、現在も復旧活動が続いています。被害状況や、支援活動について話を聞き、参加者同士で地域防災について考えていきます。

■日　時：３月10日㈮　13:30～15:30
■内　容：１．台風15号の被害状況、静岡市の防災体制
静岡市清水区地域総務課職員
２．清水区災害ボランティアセンターの取組
(福)静岡市社会福祉協議会
清水区地域福祉推進センター
３．グループトーク「地域防災を考える」
■対　象：自治会・自主防災会に関わっている方
防災に興味のある方
■定　員：30名（申込順）
■参加費：無料

しみず・ゴレなぁに？　その54

清水区の由比地区は駿河湾を望む景勝地として知られていますが、昔から地すべりをはじめとする土砂災害に悩まされてきた地域でもあります。

そのため、半世紀以上をかけて防止工事が行われ、現在もここ「由比地すべり管理センター」では、24時間自動計測システムによる地すべり地の計測・監視が行われ、地すべりを抑止するためのさまざまな対策が取られています。その中の一つに杭やワイヤーを地層深くまで埋め込み土の動きを止めるシャフト工という工法があります。

そして、見学者にその仕組みがわかるよう公開しているのがこの円筒形の建物です。杭といってもたくさんのワイヤーを組みコンクリートを流し込むもので、直径4.5m、深さは40～60mあり、山の斜面にはそれが数十本も打ち込まれているそうです。